

令和3年度 神戸市立ふたば学舎の管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	旧二葉小学校校舎の利活用について地域住民で話し合った結果、市民が行う地域活動への参加支援や住民交流・学び、歴史、文化、ものづくりを通じて地域活性化を担う人材の育成を推進することを目的に、平成22年に「地域人材支援センター」としてオープンした。令和元年度により地域に根差した施設となるように「ふたば学舎」に施設名を変更した。 施設内容は、旧小学校校舎を点活用しているため、部屋が多く、事務室、会議室、講堂、多目的室、音楽室、調理室等を備えている。また、旧運動場を二葉公園として整備しており、夕方頃になれば近隣の小・中学生でにぎわっている。
(2)指定管理者	特定非営利活動法人ふたば
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額 36,540,000円 決算額 37,782,105円 ※決算額のうち、感染症対策(市方針による利用制限)に係るキャンセル料補償額 1,306,880円

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p>1. 管理運営内容について</p> <p>○ 施設の維持管理業務 施設の建物・設備等の維持管理業務、会議室・講堂・多目的室等の貸室の運営業務(使用許可、利用料金の収納等)、地元婦人会を中心とした清掃業務、地元企業を活用した施設設備の管理や保安警備等の外部委託</p> <p>○ 施設の管理運営体制:職員5名、アルバイト5名</p> <p>2. 貸館について</p> <p>○ 利用率(稼働率)実績:</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用人数(人)</td> <td>70,245</td> <td>79,420</td> <td>80,582</td> <td>77,551</td> <td>50,474</td> <td>78,099</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>56.9</td> <td>47.2</td> <td>46.2</td> <td>51.5</td> <td>35.9</td> <td>41.3</td> </tr> <tr> <td>利用件数(件)</td> <td>6,292</td> <td>6,945</td> <td>7,272</td> <td>6,811</td> <td>4,870</td> <td>6,674</td> </tr> </tbody> </table> <p>3. 事業について</p> <p>(1) 指定事業(指定管理者が指定管理料を用いて実施する事業)</p> <p>○ 人材育成事業 地域活動に興味を持つ個人の仲間・きっかけづくりを支援するため、フィールドワークと座学を組み合わせた実践的講座「ふたば縁塾」として実施。令和3年度は、概ね80歳以下の男性を対象に「おもちゃドクター養成講座」を開催(受講生17名)。その他、神戸市OBを派遣し自治会活動の相談・アドバイスを行う「事務局助っ人制度」(利用者のべ60名)や、令和2年度ふたば縁塾卒業生及び公募ボランティアに対するイベント参画機会の提供・活動のサポート等を実施した。</p> <p>○ 地域活性化事業 コロナ禍の状況を考慮し、地域恒例行事である市民参加型イベント「まちの文化祭」は規模を縮小して開催(来場者2,500名)。地域からは2年ぶりの開催を喜ぶ声が多数聞かれた。</p> <p>○ 地域文化事業 地域文化の学習をテーマとした写真教室や講演会、地域の音楽家やアマチュア落語家によるイベント等を実施。一部はリモート配信により、密集回避に配慮しつつ開催し、コロナ禍におけるイベント実施の継続に努めた。</p> <p>○ 震災学習事業 神戸市内小・中学校を対象とした震災体験学習(参加人数 4校415人)やイベント等を実施。ゲーム体験や歌唱、トークイベント等にはWeb会議ツールを積極的に活用し、バリエーションに富んだ開催方法で震災学習の普及に努めた。</p> <p>(2) 主な自主事業</p> <p>○ 阪神・淡路大震災の記憶を継承することを目的として、神戸市外の学校や企業等の依頼を受け震災講話や避難所体験など「震災体験学習受入事業」を実施。(参加人数 16件1,963人)</p> <p>○ 特技や趣味を持った多種多様な人材を講師に招き講座開設を支援する「楽らく講座事業」を実施。講座初心者や経験の場としても活用されている。(講座参加人数 のべ195人)</p> <p>○ 地域活性化と青少年の居場所づくりを目的としたコスプレイベント「コスメル.at NAGATA」を開催。(年間12日、参加人数 のべ1,601人)</p> <p>○ 青少年の居場所づくりを目的に、「ふたば夏の陣」等、子供向け体験学習イベントを実施。(参加人数 計71人)</p> <p>○ 安心した老後のため、相続や永代供養、遺品整理などを終活をテーマにしたセミナー「周活セミナー」を開催。(参加人数 計120人)</p> <p>○ 令和3年度より、神戸市から「子育て世帯への食を通じたつながり支援事業」を受託。(提供世帯 のべ1,161世帯)</p> <p>(3) その他</p> <p>○ 令和2年度指定管理評価委員会の意見を受けて、入居テナントとの連携を推進。 ・2階部分の市環境局の取組である「エコエコ広場」に関しては、地域住民による清掃ボランティア等との調整を行うとともに、適正な管理運営のため積極的に協力している。 ・「ふたば国際プラザ」が実施する日本語教室参加者である外国籍児童の「ふたば食堂」への参加。 ・「神戸コミュニティ相談センター」と連携し、自治会が抱える地域活動の課題解決にあたる「事務局助っ人制度」を実施。 ・「神戸アーカイブ写真館」が所有する震災関連パネルを館内オープンスペースで展示。 ・広報紙「ふたばだより」への各テナントの紹介やイベント情報の掲載。</p> <p>4. 3年度の収入状況(令和3年度管理費収支表より)</p> <p>利用料収入 10,341,000円</p> <p>3年度の収支状況</p> <table border="1"> <tr> <td>収入合計</td> <td>45,778,536円</td> </tr> <tr> <td>支出合計</td> <td>47,531,404円(-1,752,868円)</td> </tr> </table>								H28	H29	H30	R元	R2	R3	利用人数(人)	70,245	79,420	80,582	77,551	50,474	78,099	利用率(%)	56.9	47.2	46.2	51.5	35.9	41.3	利用件数(件)	6,292	6,945	7,272	6,811	4,870	6,674	収入合計	45,778,536円	支出合計	47,531,404円(-1,752,868円)
	H28	H29	H30	R元	R2	R3																																
利用人数(人)	70,245	79,420	80,582	77,551	50,474	78,099																																
利用率(%)	56.9	47.2	46.2	51.5	35.9	41.3																																
利用件数(件)	6,292	6,945	7,272	6,811	4,870	6,674																																
収入合計	45,778,536円																																					
支出合計	47,531,404円(-1,752,868円)																																					

3. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	調査方法:貸館利用者に直接配布(受付にて調査用紙手渡し、鍵返却時回収) 調査期間:令和3年1月15日～令和3年3月6日 配布数:1,300枚 回収数:895枚 回収率:68.8%  ※その他の施設利用者に対しては、施設内に意見箱を常設し、その都度対応報告等を掲示板で回答。
②満足度調査の結果	【利用満足度】 ※()内はR2年度の結果 満足49.8%(45.3%)、まあ満足31.5%(33.1%)、普通16.8%(19.5%)、やや不満0.6%(1.1%)、不満0.0%(0.0%)、無回答1.3%(1.0%) 【職員の対応】 良い48.9%(49.8%)、まあ良い23.1%(20.8%)、普通21.3%(23.8%)、やや悪い0.1%(0.1%)、悪い0.0%(0.1%)、無回答6.5%(5.5%) 【施設の清掃状況】 きれい53.7%(51.2%)、まあきれい28.5%(28.9%)、普通12.7%(15.6%)、やや汚い1.0%(1.5%)、汚い0.2%(0.2%)、無回答3.8%(2.5%)
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・施設の清潔さと明るさ、レトロな雰囲気が利用者に好印象を与えている様子。 ・貸室申込手続きについて、ホームページでの空き室状況掲載の周知と窓口スタッフのさらなる熟練度アップに取り組みつつ、手続きの簡易化(キャッシュレス化含む)の検討を進めたい。 ・朝の清掃に加えて、貸室利用後に職員が部屋の消毒を行っており、サービスの一環として清潔な施設維持に繋がっていると考えられる。 ・施設の情報入手について、口コミや紙媒体が主であるが、Twitterで情報を得た20～30代の利用者もいるため、今後もSNSでの発信力を意識し、若い層の利用者増加に繋げたい。  市としては、ふたば学舎が地域住民のみならず市内外の方にも活用してもらえるように、指定管理者と十分に調整しながら既存事業の見直しや活性化について検討していきたい。

#### 4. 選定評価委員会の評価

- ・廃校を活用し、自主事業も積極的に行われており、地域自治に伴走する事業を行うテナントも入居している。昨年度に比べて利用件数も増え、ほぼコロナ禍前の状態に戻ってきている。
- ・利用者層も考慮すると、Web申込に対応していないことは利用者にとって不便である。地域住民の利用が多いとしても、Webでも申し込める仕組みを積極的に検討してほしい。また、引き続きSNSも駆使して積極的な広報を展開すべきである。
- ・ふたば学舎における人材育成事業の位置づけ、どのような人材を育成するのかの議論が必要である。テーマによっては参加者も男性に偏っているので、ターゲット別の取り組みが必要ではないか。指定管理者の中でも、ジェンダーにとらわれない議論を行っていただきたい。
- ・入居テナントとの交流や住み分けについて検討し、ふたば学舎ならではの特徴ある事業を展開してほしい。
- ・財政面において、持続可能な収支構造の検討、特に収入の確保(事業縮小ではなく、有料講座の展開等での財源確保)に向けた経営努力が求められる。

令和3年度 丸山コミュニティ・センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	「丸山コミュニティ・センター」は、昭和46年に当時の自治省モデルコミュニティ地区の指定を受け、コミュニティボンドにより一部資金調達を行い、昭和48年度に建設された施設である。条例において、市民の福祉の増進及び文化の向上をめざし、市民の連帯によるコミュニティの創造を図ることを目的としている。利用者の大部分は周辺地域の住民。施設内容は、大ホール(会議室に分割することもできる)、講習室、料理教室、和室など。
(2)指定管理者	丸山コミュニティ・センター管理運営協議会
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額 11,370,210円 決算額 11,370,210円

2. 管理運営に対する履行確認内容

1. 管理運営内容について					
(1)管理実施状況					
①施設の維持管理業務					
・建物維持管理(施設の開錠・施錠、用具・機器等の点検、小修繕、法定点検)					
・環境維持管理(施設・敷地内の清掃、植栽管理など)					
②施設の管理体制					
・午前1名、午後1名、夜間1名、清掃1名(協議会の会員による管理運営)					
・消防設備及び空調設備の保守点検業務等については外部委託					
(2)貸館について					
①施設運營業務					
・施設の使用許可、使用料の徴収・管理・納付(当該施設は使用料制を採用)					
②利用実績					
	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度
利用人数	29,082人	25,325人	38,156人	35,653人	23,305人
利用率	43.1%(13.6%)	44.7%(16.7%)	48.6%(25.5%)	47.5%(24.5%)	36.3%(15.1%)
利用件数	1,239件	993件	1,414件	1,384件	971件
※新型コロナウイルス感染症対策のため、 令和3年4月5日～令和3年4月24日…開館時間を20時までに短縮 令和3年4月25日～令和3年5月11日…閉館 令和3年5月12日～令和3年9月30日…開館時間を17時、20時、20時30分までに短縮					
30年度より、自主事業(健康麻雀・カラオケ等)、1階の一部スペースの開放などを実施し、新型コロナウイルスの閉館期間がありながらも利用者の定着に繋がっている。また、2年度より、自主事業として小学生向けの英会話教室、小中学生向けの学習室無料開放に取り組んでおり、多世代利用にも注力している。					
○健康麻雀(自主事業) 152回1,164人(2年度:187回1,522人 元年度:169回1,200人)					
○カラオケ(自主事業) 109回721人(2年度:81回578人 元年度:97回395人)					
○はじめての英会話(自主事業) 10回38人(2年度:12回42人)					
○コミセン英会話(自主事業) 3回30人					
○コミセンルーム(自主事業) 週2日程度、小中学生向けに学習室を無料開放					
○地域住民等による民謡、ダンス、空手、囲碁、卓球、日舞、書道、生け花等のサークル活動を実施					
○指定避難所としての防災備蓄物資、並びに福祉避難所用備蓄物資を保管					
○災害時の緊急避難場所・避難所として活用					
2. 3年度の収入状況					
(1)使用料収入 1,537千円(2年度:1,337千円 元年度:1,906千円 30年度:1,908千円)					
(2)収支状況 神戸市負担額 9,834千円 (2年度:11,063千円 元年度:9,309千円 30年度:9,561千円 29年度:9,558千円)					

3. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	調査方法:施設利用者に直接配布 調査期間:令和3年4月1日～令和4年3月31日 配布数:742枚 回収数:602枚(回収率81.1%) ●性別 男性:132人(21.9%) 女性:458人(76.1%) 未記入:12人(2.0%) ●年齢 ～20歳代72人(12.0%) 30～40歳代:24人(4.0%) 50～60歳代:86人(14.3%) 70歳代～:417人(69.2%) 未記入:3人(0.5%) ●居住地 丸山地区:425人(70.6%) 丸山地区以外の長田区:68人(11.3%) その他神戸市内:73人(12.1%) 神戸市外:9人(1.5%) 未記入:27人(4.5%) ●来館回数 初めて:42人(7.0%) 2～9回:123人(20.5%) 10回以上:423人(70.2%) 未記入:14人(2.3%) ●来館目的 施設の使用:293人(48.7%) イベント・講座等への参加:309人(51.3%)
②満足度調査の結果	※()内は前年度数値 【スタッフの対応について】 ①親切・丁寧さ 良い・まあ良い:92.9%(89.5%) 普通:5.9%(8.8%) あまり良くない・良くない:0.0%(0.0%) ※未記入:1.2% ②迅速さ 良い・まあ良い:90.9%(89.9%) 普通:7.5%(9.2%) あまり良くない・良くない:0.0%(0.0%) ※未記入:1.6% ③気持ち良い挨拶 良い・まあ良い:92.2%(91.8%) 普通:6.3%(6.5%) あまり良くない・良くない:0.2%(0.0%) ※未記入:1.3% ④話の聞き方・説明の仕方 良い・まあ良い:90.5%(86.4%) 普通:7.3%(11.7%) あまり良くない・良くない:0.2%(0.0%) ※未記入:2.0%

<p>②満足度調査の結果</p>	<p>【施設や設備について】</p> <p>⑤清潔さ・整理整頓        良い・まあ良い:89.5%(90.5%) 普通:5.3%(8.5%) あまり良くない・良くない:0.0%(0.0%)        ※未記入:5.2%</p> <p>⑥案内表示        良い・まあ良い:86.4%(86.6%) 普通:7.8%(11.7%) あまり良くない・良くない:0.0%(0.2%)        ※未記入:5.8%</p> <p>【来館者への案内や広報について】</p> <p>⑦施設の使用・イベント参加方法の案内の分かり易さ        良い・まあ良い:86.7%(84.9%) 普通:7.2%(13.2%) あまり良くない・良くない:0.0%(0.0%)        ※未記入:6.1%</p> <p>⑧施設の印刷物        良い・まあ良い:84.7%(86.6%) 普通:8.3%(11.9%) あまり良くない・良くない:0.0%(0.2%)        ※未記入:7.0%</p> <p>【全体の印象】        大変満足・満足:86.7%(86.8%) 普通:8.3%(12.1%) やや不満・不満:0.0%(0.0%)        ※未記入:5.0%</p> <p>&lt;自主事業の満足度&gt;</p> <p>【健康麻雀】</p> <p>①参加回数        初めて:4.6% 2～9回目:13.6% 10回以上:54.5% 未記入:27.3%</p> <p>②印象        大変満足・満足:86.4% 普通:9.1% やや不満・不満:4.5%</p> <p>【カラオケ】</p> <p>①参加回数        初めて:12.0% 2～9回目:28.5% 10回以上:38.8% 未記入:20.7%</p> <p>②印象        大変満足・満足:85.3% 普通:9.5% やや不満・不満:0.0% 未記入:5.2%</p> <p>【英会話】</p> <p>①参加回数        初めて:0.0% 2～9回目:0.0% 10回以上:100.0% 未記入:0.0%</p> <p>②印象        大変満足・満足:100.0% 普通:0.0% やや不満・不満:0.0%</p> <p>【コミセンルーム】</p> <p>①参加回数        初めて:14.5% 2～9回目:29.0% 10回以上:22.6% 未記入:33.9%</p> <p>②印象        大変満足・満足:91.9% 普通:6.5% やや不満・不満:0.0% 未記入:1.6%</p>
<p>③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーラス、カラオケ、バザーなど種々のイベントがあり、仲間づくりの場所として利用できる施設でありうれしい。</li> <li>・安心、静か、暖房も効き、居心地の良い場所を提供していただき喜んでいる。</li> <li>・地域の困りごとなどが相談できる心強いセンターである。</li> <li>・スタッフが親切で心地良い</li> <li>・施設全体が以前に比べて見違えるようにきれいになった。</li> <li>・コミセンルームに遊びに来たが、時間を忘れるほど過ごしやすかった。(10歳代)</li> <li>・施設の使用料金が安い。もっと安くしてほしい。</li> <li>・スタッフで感じの良い人が多かった</li> <li>・トイレをウォシュレットにしてほしい。</li> </ul> <p>【苦情】なし</p>

4. 選定評価委員会の評価

<p>・昨年度の評価を事業に反映し、利用件数も増加しているなど良い傾向であると理解した。</p> <p>・小中学生が気楽に立ち寄る場にもなりつつあり、引き続き、小中学生の利用促進や若年世代の事業参加に取り組み、利用者の年齢層の多様化に向けて運営を工夫してほしい。</p> <p>・現在行っている市内企業(神戸電鉄)とのコラボのように、丸山地区に限らず、市民全体が使える施設として事業を展開してほしい。</p> <p>・ホームページがなく、唯一の情報発信手段がInstagramだが、発信頻度が少ないように感じる。施設の規模的には4,000人程度フォロワーを獲得する必要があると考えられる。戦略性を持って、しっかりと活用してほしい。</p> <p>・運営主体、ハードも含め、丸山コミュニティ・センターの持続可能性について、地域福祉センターと差別化した活動を担保すべき。事業のコンセプト等も、地域福祉センターとは違った分野で丸山コミュニティ・センターならではの事業を検討すべき。</p>
---



令和3年度 神戸市立地域福祉センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	すべての市民が地域社会のふれあいの中で日常生活を送ることができるよう、市・事業者・市民が協力して地域福祉の向上をめざして、様々な福祉・交流活動を行う「ふれあいのまちづくり」事業を展開している。 地域福祉センターは、その活動拠点として、児童や高齢者、障害者や健常者など地域住民をはじめすべての人が地域の福祉活動や交流活動などを行うために利用できる施設で、概ね小学校区に1か所整備している。(令和4年3月現在、164小学校区に対して、市立189箇所整備済) 施設は、地域活動コーナーや会議室、調理コーナー、談話コーナー等の機能を備えており、延床面積は約250㎡を標準としている。令和3年度には、利用者向けに公衆無線LAN(Wi-Fi)を整備した。
(2)指定管理者	ふれあいのまちづくり協議会 188団体
(3)指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額 314,863千円 決算額 296,672千円

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p>指定管理者である各ふれあいのまちづくり協議会は、自治会・婦人会・民生委員児童委員協議会・青少年育成協議会・老人クラブ等、校区内の主な地域団体を中心に構成されており、地域福祉センターを拠点として、福祉活動・交流活動を中心に、ボランティアベースで環境・防災・子育て支援など地域の実情に即した幅広い活動(ふれあい喫茶、子育てサークル、健康体操、一人暮らし高齢者料理教室など)を実施している。また、地域福祉センターは各種地域団体の会合や住民のサークル活動などでも活用されているところが多い。</p> <p>建物の管理面においては、清掃や備品管理、利用申込の受付、利用調整、軽微な補修等を行っている。</p> <p>全体としては、概ね適正に管理運営されていると考えているが、一方では、市民に対する認知度が十分でなかったり、担い手の不足や高齢化、利用者の固定化などの課題も顕在化してきている。</p> <p>令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症の影響による地域活動の停滞や感染症防止対策に伴う閉館・利用制限があったため、地域福祉センター利用数の減少が著しかった。また、地域事情による自主閉館(指定管理者判断)の対応を取る地域福祉センターもあった。利用者数は、828,377人(R2:628,841人、R元:1,500,794人)であった。</p>
---

3. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	調査方法:協定期間内に全ての地域福祉センターで調査を実施する。 対象の地域福祉センターは、各区役所で選定する。 施設利用者に直接配布する。 調査期間:令和3年10月～令和4年3月 実施数:39地域福祉センター 回収数:2,518枚
②満足度調査の結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度の利用回数 なし:11.5%、1～6回:29.7%、7～12回:19.7%、12回以上:39.1% (R2年度…なし:7.1%、1～6回:21.8%、7～12回:17.8%、12回以上:53.3%)</li> <li>・スタッフ対応 満足:75.2%、普通:24.5%、不満:0.3% (R2年度…満足:75.5%、普通:23.6%、不満:0.8%)</li> <li>・行事内容 満足78.3%、普通19.4%、不満2.3% (R2年度…満足:75.7%、普通:23.7%、不満:0.6%)</li> </ul>
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	ふれあいのまちづくり協議会が実施する地域のための取り組みとして肯定的な意見や感想がほとんどであるが、住民同士の関係の中で新たな利用に対する排他的な雰囲気を感じている利用者もいる。 コロナ禍においても工夫して活動を実施しているが、より地域福祉センターが多様な団体・個人の活動の場、多世代交流の場となるよう、市として施設の利活用の促進や管理運営のあり方について検討しているところである。ふれあいのまちづくり協議会に対し、より多様な世代が地域福祉センターを利用できるよう市としても働きかけを続けていく。 ふれあいのまちづくり協議会と十分に意見交換を重ねながら、より住民が利用しやすい地域福祉センターとなるように、本市も支援していきたい。

4. 選定評価委員会の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉センターに関するあり方検討委員会が開催され、議論していると聞いていたので、次年度の報告に期待したい。</li> <li>・今後の活動継続に不安を抱いている地域もあるので、引き続き地域福祉センターの運営体制については考えていく必要がある。</li> <li>・今のふれあいのまちづくり協議会のみに限定することなく、NPOや企業なども指定管理者になることができるように検討していくべきではある。</li> <li>・昨年度も指摘したが、施設名称の変更についても今後、高齢者に限らず多世代の交流も促していく必要があることから具体的に検討されたい。</li> <li>・地域福祉センターの利活用の一つの可能性として、PTAや学童、部活動などの学校、教育活動との連携についても市として積極的な議論を期待したい。</li> </ul>
---

令和3年度 神戸臨床研究情報センターの管理運営に対する評価票

1. 施設概要、指定管理者等

(1)施設概要(設置目的、施設内容)	基礎研究を臨床又は実用化へ橋渡しする研究を推進し、市民の健康増進と産業発展を目的として設置。施設内容は、ラボ室(28室)、研修室(3室)、会議室(2室)。
(2)指定管理者	公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構
(3)指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
(4)R3市支出額(単位:円)	協定締結額 13,476,000円 決算額 12,946,000円

2. 管理運営に対する履行確認内容

<p>1.貸しラボの運営状況・収入                  入居率:93%(令和3年度末)(計画値100%)                  利用料:80,827千円(対計画比-2093千円 対前年度比-2809千円)                  特記事項:令和3年度末では入居率93%だが、令和4年1月まで入居率は100%で推移した。</p> <p>2.貸し研修室・会議室の運営状況・収入                  利用率:30.86%(計画値35% 対前年度比+11.6%)                  利用料:3,627千円(対計画比-73千円 対前年度比+2,303千円)                  特記事項:コロナの影響もあり、利用率は30.86%にとどまったが、令和2年度と比べると11.6%増と回復基調。</p> <p>3.駐車場の運営状況・収入                  利用台数:19台(計画値17台)                  利用料:4,080千円(対計画比+612千円 対前年度比+0千円)</p> <p>4.施設の収支状況                  収入:118,447千円(対計画比+10,322千円 対前年度比-14,927千円)※指定管理料含まず                  支出:131,261千円(対計画比+8,326千円 対前年度比-10,790千円)                  特記事項:収入では、ラボ使用料(前年度比-2,809千円)について入居率が下がり減少したが、研修室・会議室の使用料収入(前年度比+2,303千円)、検体サービス事業収入(前年度比+2,148千円)、ラボ光熱水費請求分(前年度比+2,947千円)が増加した。自主事業収入は前年比-19,557千円の減少であった。支出では、光熱水費(前年度比+3,384千円)、修繕費(前年度比+2,476千円)、電気設備点検費(前年度比2,630千円)などが増加した。自主事業に関する支出が前年比-19,543千円であった。結果、令和3年度の指定管理料は、12,946千円(対計画比-530千円、前年度比4,123千円)となった。</p> <p>5.橋渡し研究の推進及び支援                  橋渡し研究の推進・管理として、国内外の新たな開発シーズの開発戦略の提案、開発の促進を行うとともに、開発シーズの企業リエゾン、グローバル展開の支援を行った。また、臨床試験及び大規模コホート研究の支援事業を展開した。</p> <p>6.施設の保守管理状況                  供用開始後18年が経過し、空調機や照明器具などの各種設備の経年劣化等による故障・修繕対応が増加している。そのため、日常点検や法定点検を確実に実施するとともに、ラボ室空気調和機に関する自動制御機器更新、外調機用ドレン配管の更新整備、排気ファンの更新等設備機器等の更新・修繕を実施した。</p> <p>7.医療情報・臨床研究情報の発信                  米国国立がん研究所が配信する最新がん情報の日本語訳ウェブサイトの継続配信をはじめ、アルツハイマー病や希少・難治性疾患情報など医療情報を発信した。また、支援した研究の最新実績や成果を国内外に発信した。</p>
---

3. 利用者の満足度調査等

	3年度の状況
①満足度調査の実施内容	(1)研修室・会議室利用者アンケート ・調査対象 研修室・会議室利用者に直接配布 ・調査項目 センターの施設面での利便性、使用料、職員の対応など ・実施期間 令和3年6月～令和4年3月 (2)ラボ入居者アンケート ・調査対象 TRIラボ入居者(研究責任者) ・調査項目 TRIを選択した理由、施設面での利便性、賃料、職員の対応など ・実施期間 令和4年2月～3月 (3)アンケート票配布・回収状況 ・研修室・会議室アンケート 14件(利用59社、回収率24%) ・ラボアンケート 7件(対象ラボ7件に対して配布、回収率100%)
②満足度調査の結果	(1)研修室・会議室利用者アンケート ・施設全体 : 大変良い71.4% 良い28.6% あまり良くない0.0% 良くない0.0% ・設備・備品: 大変良い71.4% 良い28.6% あまり良くない0.0% 良くない0.0% ・使用料 : 大変安い42.9% 安い57.1% 普通0.0% 高い0.0% ・職員の対応: 大変良い78.6% 良い21.4% あまり良くない0.0% 良くない0.0% ・今後の利用: 是非85.7% 機会があれば14.3% 利用したくない0.0% (2)ラボ入居者アンケート ・選択理由 : 周辺環境の良さ(研究機関の集積等)85.7% その他14.3% ・設備・備品 : 大変良い14.3% 良い71.4% あまり良くない0.0% 良くない14.3% ・施設全体 : 大変良い14.3% 良い71.4% あまり良くない0.0% 良くない14.3% ・賃料 : 大変安い0.0% 安い0.0% 普通71.4% 高い28.6% ・職員の対応: 大変良い42.9% 良い57.1% あまり良くない0.0% 良くない0.0%
③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応	・耐震改修のための天井工事について、騒音・振動が実験研究のリスクとなるため、設備・構造面ではよくない評価となるが、対策等に関して真摯に対応いただいたことには感謝すると意見があった。 ・コンビニ閉店時間帯も食べ物を購入出来るように、食べ物の自販機があれば重宝するとの意見があった。

4. 選定評価委員会の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修室、会議室、入居者の利用状況はコロナ禍の一定の制約が生じている中で達成した水準はおおむね評価できる。</li> <li>・アンケートでは天井工事に対し不満がある回答があったものの、工事は神戸市の事業であり、指定管理者としてはきめ細かい入居者への対応が読み取れるなど、利用者の満足度が高い施設運営をしているものと評価できる。</li> <li>・令和3年度の収支について、指定管理料は概ね計画通りの実績であり、計画的な運営ができた評価できる。</li> <li>・webサイトにおける医療情報・臨床研究情報の発信について、需要の有無など利用有効性も織り込んで運営することが望ましい。</li> <li>・ラボの空室については、内部機関だけでなく、一般に広く募集を募ることが望ましい。</li> </ul>
---